

姉妹都市の提携

——“テネシーワルツ”で有名

ヘンダーソンビル市の プロフィール

―森と湖に囲まれた町―

ヘンダーソンビル市はアメリカ合衆国テネシー州の中央部にあるナッシュビル市の東北約三十六キロメートルのところに位置します。

面積は都留市の三分の一程度で、人口も約二万六千人と小じんまりしています。

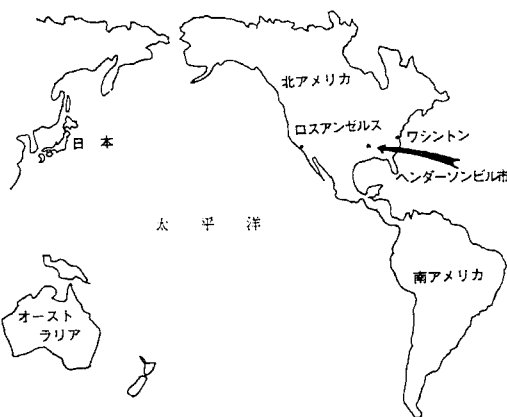
しかし、市の東・南・西の三面はすべてオールド・ヒックリー湖に面している風光明媚な町で、人口についてもナッシュビル市のベットタウンとして着実に増加しています。

気候は本市よりも温暖ですが、冬になるとまれに雪が降ることもあります。

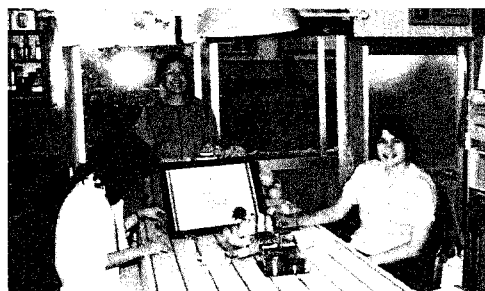
ヘンダーソンビル市では近年教育、文化の発展に特に意を注いでいて、国内外の芸術家などを招いて市民の教養を高めようと努力しています。こういう面では、都留文科大学を中核として、文教都市をめざす本市と似通っています。

市民の憩はオールドヒックリー湖を中心としたレジャーが最もさかんです。

ボート遊び、釣り、キャンプ、サイクリングなど健康的で安上りのする余暇の過ごし方は、私たちが大いに参考にする必要がありますでしょう。



▲ヘンダーソンビル市の位置



▲3年前来市したときのマーサー・ウッディー

今年是世界コミュニ

ニケーション年です

今年には国際連合が定めた、「世界コミュニニケーション年」です。

世界各国が、経済・社会・文化・国民生活にとって重要な役割を果たすコミュニニケーションについて、その発展のための施策の充実や国際協力の推進に一致して取り組む年です。

政府では、世界コミュニニケーション年推進本部を中心として、世界の相互理解と親善を深めるために、各種の記念事業を計画しています。このような時にあたり、本

市とヘンダーソンビル市が姉妹都市として手を結び合うことは、たいへん有意義なことといえます。

すでに米国では二十数年前、時の大統領アイゼンハウワーが、「国民外交運動」を唱え世界平和のための親睦外交に先駆を果しています。

テネシー文化使節団も、この親睦外交の流れを組んで結成されたいきさつがあります。飛行機という文明の利器があるとはいえ、米国となると費用やことばの問題もあり、なかなか行く機会に恵まれません。

しかし、コミュニニケーションを考えるうえからも、一人でも多くの市民が心掛けて、訪米され、親善の輪を広げることが期待されます。

今年も夏には、テネシー文化施設団が来市し、各家庭にホームステイをしながら、親善活動をくり広げる予定です。

言語の違いをのり越えて、誠意を尽せば、コミュニニケーションは自然と生れるものです。

とりたてて、着飾ったようなもてなしをする必要はありませんが、心あたたまる歓迎の姿勢でのぞみましょう。